

テーマ

子ども達がつなぐ、学校と地域の絆作り

目標

子ども達をとりまくさまざまな環境について、保護者、教職員、地域住民が協力、連携しながら整備、向上、充実していく取組を行う。
校区内の子ども達同士の連携をコーディネーターが中心となりサポートする。

今年度の取組紹介

・校区内の二つの小学校にボランティアクラブ員を募集していただきました。小学生と中学生が夏祭りで「富より団子」の販売や、「富より団子」を揚げた後の廃油を使ったエコ石けん作りに取り組みました。小学生は「どうやって石けんが出来るのかわかった!」「楽しかった!また参加したいです。」と感想を寄せてくれました。中学生ボランティアクラブも楽しんで児童たちのお世話をしてくれました。地域主催行事である秋祭りにも別途募集された小学生ボランティア

・地域の方・中学生ボランティアクラブと一緒に活動しました。来場者に靴袋を渡す・受付や席に誘導するなど中学生もサポートしながら、低学年もしっかりとまかされた仕事をこなしていました。地域の行事に参加し、来場されたたくさんの方に褒めていただき自分たちが地域の役に立っているという自己肯定感がさらに強くなったと思います。



今年度のまとめ

昨年度は中学生ボランティアクラブが活動を始め、今年度は小学校にもボランティアクラブを作っていただき連携した活動を目指しました。

年度初めの地域教育協議会で今年度の活動について理解していただいていたこと、また小学校・中学校の教職員にも理解があったため、小学生と中学生と一緒に活動するプログラムをスムーズに実施することができました。

小中ボランティアクラブ以外の活動として、放課後こども教室のお手伝いや小学生と保護者が中学校で地域ボランティアや中学生ボランティアクラブと「しめ縄作り」を行いました。今年度の小中ボランティアクラブの活動が根底となり、今後の地域内連携の活動に進んでいく一歩となりました。

来年度に向けて

地域教育協議会の活動が更に発展するよう、教職員・地域の方々と共に合同の研修会を実施する予定です。幼稚園との連携、今年度の活動の継続や見直し、また、コーディネーターの勉強会を兼ねた先進地視察などを考えています。

テーマ

イキイキ・スクスク伸びる環境(内面・外面)作り

目標

- ①地域教育協議会の活動(環境美化活動、文化活動、学習支援活動等)の発展。
- ②地域住民の一員としての地域貢献活動の充実。
- ③職場体験学習(キャリア教育)支援の充実。
- ④ボランティアクラブ活動の充実・発展。
- ⑤地域防災の拠点となる学校をめざす。
- ⑥全校生徒のボランティア精神の高揚。

今年度の取組紹介

・ボランティアクラブが、地域のボランティアさんの協力で古代米作りに挑戦しました。田んぼ作り、田植え、草取り、すずめのおどし、稲刈り、脱穀、唐箕まで一年かけて取り組み、約5キロの黒米を収穫しました。特に、古くから行われていた手法を実際に体験し、米作りの苦労を学びました。さらに、地域の小学生を招いて、その藁を使って、しめ縄作りも体験しました。お正月にはそのしめ縄は、地域の幼稚園・小学校にも飾っていただきました。昔から伝わる、しめ縄・門松の由来・意味も学ぶことができ、日本の古き良き伝統を学ぶ「世界遺産学習」が実践出来ました。



今年度のまとめ

・今年度も、地域教育協議会の活動が充実・発展し、コーディネーターの献身的な取り組みにより、生徒、保護者、教職員の理解と協力が得られました。特に、今年初めて、職場体験の事業所 90 ヶ所への依頼とお礼等すべて支援していただきました。また、マナー講習会の講師、様々な職種のゲストティーチャー講座ではお菓子職人講座の担当や、ゲストティーチャーの接待までお任せしました。キャリア教育が充実するとともに、教職員の大きな負担軽減になりました。

・顧問であるコーディネーターの指導のもとでボランティアクラブの週2回の定例活動が充実し、「花咲ロード」、「クリーンキャンペーン」の企画・運営、「富より団子」の販売、放課後子ども教室の支援、夏祭り・文化発表会での出し物、エコ石鹸作り、門松作りに加え、新たに田んぼで古代米作りに挑戦し、田植えから収穫、その藁を使ってしめ縄作りまで発展し、古き伝統文化を学ぶ世界遺産学習もできました。さらに、「防災セミナー(公民館)」・「世界遺産学習」・「第3回交流の集い」での発表、「防災生徒総会」のお手伝いなどで活躍しました。さらに、これらの活動は小学校ボランティアクラブと協働での活動に発展し、小中一貫教育を見据えての先駆けとなりました。

来年度に向けて

・今年度の活動を基本に、生徒会、保護者、地域、コーディネーター、ボランティア、教職員が協働で、より計画的に充実した活動へと発展させ、小中一貫教育を見据えた、幼小中連携のリーダーシップを発揮していくことが目標です。また、古代米作り、盆踊りなどを通しての世界遺産学習、キャリア教育、地域防災訓練などを深化・発展していきたいと考えます。また、各種講演会(ゲストティーチャー)には保護者・地域の方々を招いて共に研修していく機会を増やしていきたいと考えています。

テーマ

富雄大好きプロジェクト4

目標

- ①富雄を誇りに思い、富雄で学んで良かったと思える人作りを継続する。
- ②児童の体力と敏捷性のアップをめざす。
- ③読み聞かせ活動や読書活動を充実し、情緒面の安定と心を育てる。
- ④登下校時及び学校生活における安全に取りくむ。
- ⑤美しく落ち着いた学習環境を整備する
- ⑥学校をよりよくするため、進んで行動できる児童を育成する。

今年度の取組紹介

・3年生は5月に3回にわたり、社会科で校区探検を行いました。富雄駅周辺の店をまわり、お店や仕事の様子、富雄での暮らしについて、たくさんの質問をしました。保護者ボランティアが先生の代わりに交通ルールやマナー、あいさつなどの礼儀も指導して下さいました。今年度は、商店の方にもご協力いただきました。



・2年生は生活科でさつまいもの苗植えを体験しました。「さつまいも名人」の7人の地域ボランティアさんに教えていただきながら慣れない手つきで苗を植えました。秋にはいもを掘り、さつまいもの栄養学習、おやつ作りを行いました。



今年度のまとめ

今年度は、先生方とコーディネーターさんや地域のボランティアさんとが、早い時期から話し合いを行い、昨年度よりさらに充実した活動ができました。1年生は昔遊び学習、2年生はさつまいもの苗植え体験、3年生は地域探検、4年生は環境学習として「蛍」についての現地実習、5年生は運針指導・米作り体験、そして6年生は地域にお住まいの被爆者の方からの聞き取り活動・福祉体験を行い、充実した活動ばかりでした。特に3年生の地域探検では、今年度、初めて地域のお店のご協力をいただき、子どもたちからは「いろいろ知ることができて楽しかった」といった感想が多く出されました。

今年度、さまざまな活動を通して、「地域の教育力が学校現場で活かされ、温かい富雄の町の方々のおかげで、豊かな学びが展開されていた。」と保護者の方々が感想文に書かれていました。

また今年度、ボランティア委員会を立ち上げ、進んで学校を生活しやすくする取り組みなどをスタートしました。

来年度に向けて

今年度の学習の成果や問題点、改善すべきところを各学年で話し合い、データ化する予定です。そのデータをもとに地域ボランティアの方とさらに話し合い、より学校のニーズに沿った学習を来年度展開していく予定です。また、ボランティア委員会と中学校のボランティアクラブとの交流も行っていきたいと考えています。

テーマ

『 地域から 世界にはばたく鳥見っ子 』

目 標

- 鳥見の地域を愛する子を育てるために、鳥見の地域の良さを地元の方や卒業した中学生から学び、鳥見地域に対する誇りと自信、地域を守る意識を育む。
- 多様な立場の人々との関わりを深めながら、より良い人間関係を創造していき、世界に目を向ける国際人を育成する。

今年度の取組紹介

今年度の取組の目玉は、「中庭の芝生化」

昨年度計画していた「中庭の芝生化」が、耐震補強工事が入ったため実施することができなくなりました。同じ敷地内にある幼稚園は、昨年度園庭の芝生化を進め、今年度からは園児たちが芝生の園庭で楽しく過ごしています。小学校も幼稚園のように子どもたちが芝生の上でほのぼのと本を読んだり、語らったりできる場を作るべく、地域の方と共に中庭の芝生化に取り組みました。

作業に当たっては、中庭に芝の苗を植えられるように草を抜き、耕すところから始めましたが、地域で農業をされている方の協力があり、耕耘機を使って作業ができたので、スムーズに進めることができました。また、耕した中庭に芝や花を植える作業も地域の方と共同で行うことができました。秋には、緑を一年中保てるように、冬芝の種も蒔きました。

芝が育ち、中庭を本格的に使えるようになるのは、次年度からになりますが、作業に関わってくださった方たちも、春になり、子どもたちが芝生の上で過ごす姿を楽しみにされています。



草を引いて、耕して



みんなで苗植え



元気に育っています

今年度のまとめ

生活科や総合的な学習の時間を中心に地域の方と共に活動することを通して、子どもたちは、鳥見地区には、専門的な知識や優れた技などをもっておられる方がたくさんいらっしゃることに気づきました。また、地域の方々にも学校の取組や子どもたちの様子などを知っていただける機会となりました。ステップルームの「お茶をどうぞ」に招待したときも、「十二月の鳥見レストラン」とても楽しく、そしておいしく参加させていただき有り難うございました。「お茶をどうぞ」喜んで参加させていただきます。」という温かい手紙もいただきました。

「読書環境を整えよう」では、芝生広場の他にも古くなった本の修復作業を定期的にして下さったり、図書室の掲示物を工夫して楽しい雰囲気を作り出したりして下さり、子どもたちも喜んで図書室に通っています。ほかにも、子どもたちは、花を植えたり、清掃活動をしたり、地域の方と共に活動することを通して地域を大切にしていくことを学びました。今後も鳥見地区に誇りをもてるような、より充実した活動をめざしたいと考えます。

来年度に向けて

地域ボランティアの関わりで昨年からの課題であった中庭の芝生化も進み、読書環境も整備されてきました。次年度からは、中学校区のテーマがボランティアになることもあり、生活科や総合的な学習の時間中心の活動だけではなく、委員会活動や児童会活動と関連させた幅広い活動が必要になってきます。そのような活動を通して、ボランティアに対する見識を深め、自ら進んで活動する児童の育成を目指したいと思います。

テーマ

地域と共に育ち合う幼稚園

目標

- ・ 大好き富雄
- ・ 今 私たちにできること

今年度の取組紹介

今年度も、茶道教室や正倉院展の話、お話の会、菜の花プロジェクト等、地域の方の教育力を得て事業を進めることができました。

- 茶道教室においては、年少児は3回、年長児は4回地域に住んでおられるお茶の先生に来ていただき実施しています。子どもたちは、毎回とても楽しみに取り組んでいます。1月は、初釜ふうに親子茶道教室をしました。先生のお点前を見せていただいたり、花びらもちのいわれを聞いて、お茶と一緒にいただいたりしました。子どもたちは、保護者の方に「お先に頂戴します。と言ってからお菓子をとりんだよ。」「茶筌は、シャカシャカして最後にのの字を書くよ。」「お点前頂戴しますと言ってからおじぎするよ。」等、今まで教えてもらったことを話していました。
- 年3回の「お話の会」では、ボランティアの方にエプロンシアター、外国等の様々な絵本やお話をしていただいています。子どもたちは、回を重ねるごとに、楽しみに待つ様子が見られ絵本を読んでくださるボランティアの方にも親しみをもって関わる姿が見られました。



今年度のまとめ

- 本園で取り組んでいる ESD（持続発展教育）を進め、食育、環境教育、世界遺産学習、国際理解等を通して、「ひと・もの・こと」に出会い様々な経験をする中で子どもたちは、様々なことに興味や関心をもって取り組み、生き生きと生活する姿が見られ、心豊かな子どもたちに育ってきています。それぞれの分野で活躍されている地域の方の教育力や協力を得て、様々な経験を積み重ねることができています。自分たちにいろいろなことを教えてくださったり、温かく見守ってくださったりする地域の方が住んでいる富雄が大好きと思える子どもたちに育ちつつあります。
- 菜の花プロジェクトでは、菜の花の栽培を通して、菜の花は捨てるものがなくいろいろなものに役立っていくことを学び、「もったいない運動」の推進にもなりました。
- 食育の取組では四季折々の野菜を栽培し収穫の喜びを感じ、栽培物に興味や関心が高まり食することへの意欲につながりました。

来年度に向けて

- 昨年度から、引き続き事業を実施させていただき、継続して行うことで子どもたちが成長することを実感しています。これからも、地域の方の教育力をいただき、感動体験を積み重ねられるように協力体制をお願いしたいと思います。
- 地域の方が、園の行事に気軽に参加していただけるように、これからも働きかけていきたいと思っています。

テーマ

小学校への滑らかな接続

目標

- 小学校教育につながる・触れ合う・学び合う
- 夢が広がる遊びの環境づくり

今年度の取組紹介

○遊び用テーブル・棚づくり・ペンキ塗り (6月27日)

幼児と保護者、地域ボランティアの方々により、遊びに使う棚や、テーブル、スクータースタンド作り、ベンチ、サッカーゴールなどのペンキ塗りをしました。幼児も地域の方の様子を見ながら、釘を金槌で打ったり、テーブル用の木の板を紙やすりで磨いたり、できあがった棚にペンキを塗ったりしました。「やったあ、初めてペンキ塗ったよ。」「これで、一緒に遊ぼうね。」と活用を楽しみにしていました。きれいに塗られたテーブルや木の棚、スクータースタンドを使って、子ども達はいきいきと遊んでいます。また、小学校の休み時間や、今年度から木曜日の休み時間に行っている幼小の自主交流「いっしょにあそぼう」では、小学生が幼稚園の“みどりのふわふわ広場”でダンスやままごと、水遊びを一緒にしたり、運動場でボール遊びなど様々な遊びを楽しみ交流しています。その場では、地域の方々の協力で作った棚やテーブルが遊びをより楽しく豊かにする環境となっています。



スクータースタンドづくり



芝生で遊ぶ幼児と小学生



「英語であそぼう」

○「英語であそぼう」(11月18日・12月9日・1月20日)

コミュニケーション力、集中力、想像力の育成として外国人講師による英語活動を年3回実施しました。英語で挨拶の後、聞く話す、体を動かして遊ぶなど、講師先生との触れ合いを楽しみながら外国の文化や英語に親しみました。

今年度のまとめ

子どもたちが変わったこととしては、幼児も一緒に作業をしたことで、用具を活用し工夫しながら遊ぶようになりました。また、友達との会話が増え、主体的に遊んだり片付けたりする姿が見られ、ものを大切に扱うようになりました。小学生との交流活動にも大いに活用し、人と関わる力の育成にもなりました。他に花苗植えや芝生の世話などの環境整備は、“夢が広がる環境づくり”となり、保護者の方々からは、「みんなの力で幼稚園がきれいになっていくことは素晴らしい」と取組を喜ばれる声が多数聞かれました。ゲストティーチャーの指導によるお茶会や保護者対象の食育講座、地域の栽培指導員によるイネ、サツマイモ等の栽培活動は、食や健康への関心や意識を高めることにもなりました。地域の方々の協力を得ながら様々な体験をすることで、遊びや生活が充実し、幼児の豊かな心やコミュニケーション力が育ち、小学校への滑らかな接続につながっていきました。

来年度に向けて

来年度も地域や保護者の方々に感謝の気持ちを持ち、美しく豊かな環境のもと子どもたちがより一層のびのびと自分の力を発揮しながら遊べるようにしていきたいと思えます。小学校への滑らかな接続を目指し今後も環境整備に努め、幼児も保護者も笑顔いっぱいの園生活が送れるようにしていきます。